

「移植前フェリチン値の同種造血幹細胞移植成績への影響に関する後方視的調査」へ

のご協力をお願い

—1995年1月から2011年12月の間に当科において同種造血幹細胞移植を受けられた方およびそのドナーの方へ—

研究機関名	岡山大学病院			
責任研究者	岡山大学病院	血液腫瘍内科	助教	近藤英生
分担研究者	岡山大学病院	血液腫瘍内科	講師	品川克至
	岡山大学病院	血液腫瘍内科	助教	前田嘉信
	岡山大学病院	血液腫瘍内科	助教	松岡賢市
	岡山大学病院	輸血部	講師	藤井伸治

1. 研究の意義と目的

当施設での移植前フェリチン値による非再発死亡率、再発率、生存率に及ぼす影響を確認し、既報との違いを検討することで、新たな治療法開発のために重要な情報が得られると考えられます。

2. 研究の方法

1) **研究対象**：1995年1月から2011年12月の間に岡山大学病院にて同種造血幹細胞移植を施行された造血器悪性腫瘍患者およびそのドナー

2) **調査期間**：

平成 24年 9月 ～平成 25年 12月 31日

3) **研究方法**：

今までに当施設で同種造血幹細胞移植を施行された方のカルテ情報を調査する後向きコホート試験として実施します。治療に関する介入はなく、人体試料は採取しません。

4) **調査票等**：

調査票ファイルには、年齢、性、カルテ番号以外の個人情報（イニシャルなど）を記入しません。調査票ファイルは研究事務局で保管します。

5) **情報の保護**：

調査票ファイルには、年齢、性、カルテ番号以外の個人情報（イニシャルなど）を記入しません。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成25年9月30日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 血液腫瘍内科 助教 近藤 英生 電話：086-223-7151